

案内

地域社会振興財団研修会

2. 第34回健康学習研修会

一行動変容、意識変容の基本となるコミュニケーション技法の習得

日時：7月2日(木)～3日(金)

テーマ：元気・やる気生まれるコミュニケーション法とは

プログラム：①住民が元気になるコミュニケーション／②住民の視点に立ったメタボリック症候群対策／③集団対象の健康学習の基本

対象者：保健師、栄養士、医師

定員：30名

受講料：1万8000円

申込期間：～6月12日(金)

3. 第15回健康企画・評価研修会

一住民の心身トータルの健康を目指した事業の企画法

日時：7月30日(木)・31日(金)

テーマ：これからの時代、保健事業に大切な企画力・評価力を習得

プログラム：①健康事業企画の基本的考え方／②参加したくなる心の元気教室の企画法／③住民が参加したくなる広報の実際／④具体的事例検討他

対象者：保健師、栄養士、担当者および責任者(例：保健課長)

定員：30名

受講料：1万8000円

申込期間：～7月10日(金)

4. 第36回保健活動研修会

一保健活動における研究：計画から学会発表・論文執筆まで

日時：8月7日(金)～9日(日)

テーマ：地域保健・職域保健・学校保健等、公衆衛生活動の実践の場における企画立案や評価のための研究活動を行ない、学会発表・論文執筆に至る一連の過程について学習する。

プログラム：①研究を遂行するために必要な基礎知識(講義)／②研究の現状把握のための文献検索や情報収集(演習)／③政策策定過程における研究成果の活用(特別講義)／④グループワークによる研究計画の立案他

対象者：地域保健、職域保健、学校保健の現場で保健活動を実践する保健師、看護師、栄養士、医師、歯科医師、事務職員等／今後、保健活動において研究を行

なう予定がある者

定員：30名

受講料：2万5000円

申込期間：～7月17日(金)

5. 第13回口腔ケア研修会

一口腔ケアの基本と周術期口腔管理におけるチームアプローチ

日時：9月9日(水)・10日(木)

テーマ：口腔ケア実践のための基本知識と技能向上および周術期口腔管理とチームアプローチについて

プログラム：①口腔ケアのための口腔疾患の基礎知識／②口腔ケアの基本、システムの構築／③感染性心内膜炎の予防と血液幹細胞移植時の口腔ケアの重要性／④摂食機能障害と口腔ケア／⑤口腔ケアの技能習得／⑥周術期口腔管理と口腔ケアのチームアプローチ他

対象者：医師、歯科医師、歯科衛生士、看護師、保健師、介護福祉士、栄養士、言語聴覚士等

定員：50名

受講料：1万8000円

申込期間：～8月21日(金)

6. 第39回スタッフ育成・管理担当者研修会

一スタッフ育成のためのティーチングとコーチングの実際を学ぼう

日時：10月9日(金)・10日(土)

テーマ：スタッフ育成のためのティーチングとコーチング

プログラム：①スタッフを育てるリーダーシップ・ティーチングとコーチングの使い分け・ティーチングのトレーニング／②スタッフを支えるコーチング・コーチングのロールプレイ他

対象者：看護単位の責任者とその任にあたる者および看護単位でスタッフ育成の任にあたる者／関連職種単位の責任者とその任にあたる者および関連職種の単位でスタッフ育成の任にあたる者

定員：40名

受講料：1万8000円

申込期間：～9月18日(金)

7. 第18回リハビリテーション研修会

一ここがポイント：急性期リハビリテーションの進め方

日時：10月29日(木)・30日(金)

テーマ：脳血管障害、外傷、循環器障害、呼吸器障害等の急性期リハビリテーションのポイントを学ぶ

プログラム：①脳血管障害患者の急性期医療管理／②脳血管障害患者の急性期理学療法介入のポイント／③循環器障害患者の急性期理学療法介入のポイント／④呼吸器障害患者の急性期理学療法介入のポイント／⑤外傷患者の急性期医療管理／⑥外傷患者の急性期理学療法介入のポイント／⑦急性期患者の作業療法介入のポイント

対象者：医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等

定員：30名

受講料：1万8000円

申込期間：～9月30日(金)

8. 第4回がん化学療法看護研修会

一がん化学療法看護ベーシック・プラクティス

日時：11月6日(金)・7日(土)

テーマ：がん化学療法を受ける患者の生活を支えるための基礎知識と看護実践

プログラム：①がん化学療法の基礎知識／②がん化学療法のレジメンのアセスメント／③抗がん剤の安全な投与管理／④がん化学療法を受ける患者の意思決定支援／⑤がん化学療法を受ける患者のセルフケア支援／⑥がん化学療法を受ける患者の副作用症状のマネジメント

対象者：がん化学療法看護に関心がある看護師等

定員：20名

受講料：1万8000円

申込期間：～10月16日(金)

9. 第8回看護専門研修会

一経験型実習における看護実践教育スキルの獲得を目指して

日時：11月13日(金)・14日(土)

テーマ：経験型実習における看護実践教育スキルの獲得を目指して

プログラム：①経験型実習に必要な実習教育スキルの概要／②実習教育における経験学習に関する振り返り、気づきを支援する教育スキル／③看護管理者の立場からの実習調整スキル／④対人関係を支援する教育スキル他

対象者：看護実習指導にかかわっている実習指導者、看護管理者、看護教員、実習に興味や関心のある看護職等

定員：20名

受講料：1万8000円

申込期間：～10月23日(金)

10. 第43回看護師研修会

—高齢者ケアのためのスキルアップ研修 (最新知識)

日時：11月27日(金)・28日(土)

テーマ：高齢者の特徴を理解し、看護ケアのスキルアップをめざす

プログラム：①高齢者理解のための基礎知識／②スキンケア(高齢者の皮膚の特徴・失禁による皮膚トラブルの原因と対処方法)／③高齢者の糖尿病ケア(治療から療養支援まで・高齢者体験)／④栄養管理に関する看護師の役割(スクリーニング・アセスメント・プランと多職種(NST)連携)／⑤摂食・嚥下障害患者へのケア(摂食・嚥下の基礎知識・高齢者の摂食嚥下機能)／⑥せん妄ケア(重症化させない看護・せん妄患者の家族への看護)
対象者：看護師

定員：30名

受講料：1万8000円

申込期間：～11月6日(金)

(以下共通)

会場：自治医科大学地域医療情報研修センター(栃木県下野市)

申込方法：専用の受講申込書(ホームページよりダウンロード可)を郵送

問い合わせ：地域社会振興財団事務局研修課

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-160

TEL：0285-58-7436

FAX：0285-44-7839

E-mail：fdc@jichi.ac.jp

http://www.zcssz.or.jp/

案内

第11回 ICM アジア太平洋地域 会議・助産学術集会

日時：7月20日(月)～22日(水)

会場：パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

テーマ：すべての妊産婦と赤ちゃんに助産師のケアを

プログラム：

7月20日

市民公開講座「子育てと家族を支える原点を見つめる—難病の子どもと家族への支援を通して」大住力(難病の子どもとその家族の会へ夢を代表理事)／次世代育成事業「これからの日本で子どもを産むということ」河合蘭(出産ジャーナリスト)

／自由集会①「母乳育児支援」・②「女性の寄り添う助産教育を考える」・③「もはや産科では、子どもは生まれない?『混合病棟』における分娩の安全と質を考える」・④「アジアアフリカの助産ケアを考えよう」・⑤「助産診断名の臨床への応用—電子カルテにどのように導入するか」・⑥「ベリネイタル・ロスのケア—体験者の声を聴こう」／ワークショップ「Introduction to Research Methods」Judith Mc Ara-Couper, ICM Research Standing Committee / WHO Panel「Quality of Care—the Latest WHO Guidelines, Tools and Materials」

7月21日

会長講演「すべての妊産婦と赤ちゃんに助産師のケアを」坂本すが(日本看護協会会長)／基調講演・Frances Day-Stirk (ICM President)／特別講演1「アジアにおける助産師活動支援—ベトナム助産師会とモンゴル助産師会の立ち上げから」南野知恵子(元参議院議員)・2「産科医療補償制度と周産期における医療安全」後信(日本医療機能評価機構医療事故防止事業部長)／教育講演「原者に学ぶクリステル胎児圧出法」池之上克(日本母性衛生学会理事長)／ワークショップ「今、求められている産後ケア」市川香織(産前産後ケア推進協会、文京学院大学保健医療技術学部看護学科准教授)・坂梨薫(関東学院大学看護学部看護学科)・萩原玲子(武蔵野大学附属産後ケアセンター桜新町センター長)／「エビデンスを助産実践に活かそう」大田えりか(国立成育医療研究センター研究所)・村山綾子(東京大学大学院医学系研究科アドバンストナリングテクノロジー講座)・永森久美子(聖路加産科クリニック)／WHO Related「WHO-UNFPA workshop」ICM-WHO workshop「WHO workshop」

7月22日

シンポジウム「助産ケア—2国間相互支援プログラム」谷口初美(九州大学大学院医学研究院保健学部助産学教授), Speakers from Vietnam, Australia, Papua New Guinea / 「災害に備えて母子支援をしよう」Karen Guillard(NZ), Corazon L. Paras(Philippines), 真坂雪衣(石巻赤十字病院産科看護師長), 八木橋香津代(スズキ記念病院看護部長)／ワークショップ「日本の助産師の技を受け継ご

う」山本詩子(山本助産院), 神谷整子(みづき助産院), 矢島床子(矢島助産院)／「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)の活用—取組事例から学ぼう!」安田陽子(倉敷成人病センター周産期センター看護副師長), 大城洋子(かみや母と子のクリニック), 久保絹子(東邦大学医療センター大森病院看護師長), 砥石和子(杏林大学医学部附属病院看護師長), 村田佐登美(愛仁会高槻病院産科病棟看護科長)／「Making the Case for Midwifery: A Toolkit for Using the State of the World's Midwifery 2014 Report to Create Policy Change at the Country Level」TBD / 「The Global Fund Financing Facility in Support of Every Woman Every Child」Frances Day — Stirk

参加費：

(～6/17)4万円

(当日)一般5万円, 助産学生5000円, 大学院生1万円

詳細：http://www.icmaprc2015.org/

案内

平成27年度 Quality of Life 研究会

1. 第17回QOL研究会夏期セミナー—禁煙とQOL

日時：7月25日(土)13:30～17:10

会場：奈良市保健所3階研修室(奈良県奈良市)

プログラム：特別講演①「QOLの改善に着目した禁煙支援—子ども・女性・妊婦への支援のポイント」高橋裕子(国立大学法人奈良女子大学教授)・②「QOL研究の実際」萬代隆(国立循環器病研究センター)／研究発表「禁煙はQOLを改善するか?」①林友豊(大阪大学医学部), 吉岡亮(同), 田中和典(同), 高橋裕子, 萬代隆, 「禁煙はQOLを改善するか?」②木村友昭(MOA健康科学センター主任研究員)

問い合わせ：奈良女子大学保健管理センター高橋裕子教授室

TEL & FAX：0742-20-3245

2. 第16回日本QOL学会—QOL研究成果の臨床現場・社会への還元

日時：9月5日(土)9:00～16:00

会場：国立感染症研究所(東京都新宿区)

参加費：5000円(第83回QOL研究会参

加費含む)

3. 第83回QOL研究会—QOL研究今後の展望

日時：9月6日(日)9:00～13:00

会場：国立感染症研究所(東京都新宿区)

プログラム：特別講演①「これからのQOLがめざすべきもの」日野原重明(聖路加国際病院理事長・名誉院長)・②「Real World DataとQOL」武藤正樹(国際医療福祉大学大学院教授、同総合福祉研究所所長)・③「QOLの統計的評価最近の成果から」大橋靖雄(中央大学理工学部人間総合理工学科生物統計学教授、東京大学名誉教授)

【演題募集】

応募方法：専用応募用紙による

応募締切：6月30日(火)

送付先：QOL研究会事務局

〒645-0162 神戸市須磨区神の谷7-5-1

4. 第84回QOL研究会—医療における双方向性

日時：12月5日(土)13:00～17:00

会場：神戸女学院大学(兵庫県西宮市)

プログラム：特別講演①「ケアの双方向性」柏木哲夫(淀川キリスト教病院理事長)・②「患者さんから学ぶ移植医の立場から」梅下浩司(大阪大学医学部保健学科教授)・③「患者さんから学ぶ看護・移植コーディネーターの立場から」萩原邦子(阪大病院移植医療部看護師長)

【以下共通】

参加費：2000円(第16回日本QOL学会除く)、学生はすべて無料

問い合わせ：国立循環器病研究センター 萬代隆

TEL：06-6833-5012

FAX：06-6872-7486

E-mail：qolmanda@nona.dti.ne.jp

http://www.nona.dti.ne.jp/~qolmanda

案内

日本地域看護学会 第18回学術集会

日時：8月1日(土)・2日(日)

会場：パシフィコ横浜会議センター(神奈川県横浜)

プログラム：学術集会長講演「健康長寿社会に向けた地域看護学のグランドチャレンジ」田高悦子(横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野教授)／特別講

演「健康長寿社会に向けた地域ケア政策と人材育成における展望と課題」大森彌(東京大学名誉教授、NPO法人地域ケア政策ネットワーク代表)／教育講演「I. 地域を基盤にした生涯にわたる健康づくりとソーシャルキャピタル」山縣然太郎(山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座教授)・「II. 高齢者の健康と社会的ネットワークの形成に関する地域介入」芳賀博(桜美林大学老年学研究科教授)／シンポジウム「I 人口減少社会における新しい地域づくり—新しい公共の創出と協働」秋山正子(ケアーズ白十字訪問看護ステーション代表取締役・所長)、杉山昇(都市住宅とまちづくり研究会理事長)、岸恵美子(帝京大学医療技術学部看護学科地域・公衆衛生看護学教授)、II「すべての子どもが健やかに育つために—生涯に通じる子どものセルフケア能力の育成—」朝倉隆司(東京学芸大学芸術・スポーツ科学群養護教育教室教授)、高橋ゆきえ(横須賀市児童相談所所長、保健師)、横山美江(大阪市立大学大学院看護学研究科地域看護学教授)／ワークショップ「I 科学としての地域看護学—質的研究について考える」高木廣文(東邦大学看護学部長、国際保健看護学研究室教授)・II「地域に見える化と統計解析—地域看護学へのGISの応用」(宮澤仁(お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科人間科学系准教授)・III「放射線による健康影響と災害支援のあり方(仮)」日本地域看護学会災害支援のあり方検討プロジェクト企画・IV「保健師の現任教育のあり方(仮)」日本地域看護学会教育委員会企画／理事会企画セミナー「医療介護確保推進法後の保健医療福祉：地域看護領域へのインパクト(仮)」厚生労働省老人保健課(依頼中)／市民公開講座「遺品整理の最前線—命綱としての地域コミュニティ(仮)」小根英人(遺品整理士認定協会副理事長)／ランチョンセミナー①つながろう！完全非公開型ヘルスケア専用SNS—実践型ワークショップで、明日から地域包括ケアに即活用・②健康長寿と睡眠—より健康に、生き生きと毎日を過ごすための睡眠6箇条・③地域看護における地理情報システム(GIS)活用のススメ(仮)—自治体、教育機関、訪問看護ステーションのそれぞれの観点から・④高周波電磁界の健康リスク評価—

WHOの国際電磁界プロジェクトを中心にして／アフタヌーンセミナー「次代を担う専門職人材育成—産学連携における入学前教育へのチャレンジ」／指定集会1「地域包括ケアシステムにおいて保健師が果たす役割を考える集会—保健師がみる・つなぐ・動かす地域包括ケアシステムとは」工藤禎子(北海道医療大学看護福祉学部地域保健看護学講座准教授)・2「孤独死ではない在宅ひとり死を考える集会—どのような体制や仕組みがあれば在宅ひとり死は可能になるのか」柄澤邦江(長野県看護大学看護学部広域看護学講座講師)／スチューデントカフェ「地域看護への招待—保健師・看護師・研究者が語る地域看護の実践とサイエンス」／プレセミナー「始めよう！強みを見出す地域診断」！斉藤恵美子(首都大学東京健康福祉学部看護学科教授)

参加費：

(～6/30)会員9500円、非会員1万円、院生を除く学生2000円

(当日)会員1万1000円、非会員1万2000円、院生を除く学生3000円

懇親会(～6/30)7500円、当日8000円

申し込み：ホームページより

問い合わせ：

〈学術集会事務局〉横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9

E-mail：jachn18@yokohama-cu.ac.jp

http://jachn.umin.jp/meeting/ml18/index.htm

〈学会事務局〉日本地域看護学会事務センター

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1 オザワビル2F (株)ワールドプランニング内

TEL：03-5206-7431

FAX：03-5206-7757

E-mail：ckango@zfhw.ftbb.net

案内

臨床実践の現象学会 第1回大会

日時：8月8日(土)10:00～18:00

会場：首都大学東京荒川キャンパス(東京都荒川区)

テーマ：現象学的研究をはじめ

プログラム：大会長講演・西村ユミ(首

INFORMATION

都大学東京大学院)／演題「長期療養病棟の患者と看護師の経験一筋ジストロフィー病棟の場合」石田絵美子(神戸市看護大学)、菊池麻由美(東京慈恵会医科大学)／大RTD(ラウンドテーブルディスカッション)「一緒に『現象学する』」萱間真美(聖路加国際大学)、村上靖彦(大阪大学)、大塚類(青山学院大学)、細野知子(首都大学東京大学院)

参加費：1000円(当日受付)

申し込み：不要

問い合わせ：窓口担当 西尾美里

clinical.phenomenology@gmail.com

<http://clinical-phenomenology.com/meeting/>

案内

日本看護研究学会 第41回学術集会

日時：8月22日(土)・23日(日)

会場：広島国際会議場(広島県広島市)

テーマ：日本から世界へ看護、発信！—

いのちと暮らしを支える和と輪と環と話

プログラム：会長講演「和と輪と環と話」

宮腰由紀子(広島大学教授)／基調講演

「日本から世界へ看護、発信！」真田弘美

(東京大学教授)／特別講演Ⅰ「愛しき哉、

生命！(仮)」長沼毅(広島大学准教授)・

Ⅱ「ヒロシマに生きて」被爆を語り継ぐ

会・Ⅲ「いにしえびとの生命観」桑原國雄

(御調神社宮司)／教育講演Ⅰ「欧州看護

教育における放射線看護は今」Gerhilde

Schuttengruber(Graz大学)・Ⅱ「気がつ

けば隣は異文化」Allan Sutherland(九州

看護福祉大学准教授)・Ⅲ「語り」が高め

るQOL—SEIQoL-DWを用いて」渡邊知

子(秋田大学講師)、中村令子(東北福祉

大学教授)、藤田あけみ(弘前大学准教

授)・Ⅳ「放射線医療と看護(仮)」神谷研

二(広島大学教授)／鼎談「保健医療そし

て看護におけるビッグデータの活用と課

題」水流聡子(東京大学教授)、高木廣文

(東邦大学教授)、中澤港(神戸大学教授)

／特別交流集会Ⅰ国際活動委員会企画

「国際的な視点に立ったsystematic re-

viewの仕方(仮)」今野理恵(関西国際大

学准教授)・2研究倫理委員会企画「看護

研究における発表倫理」山崎茂明(愛知淑

徳大学教授)・3編集委員会企画「新電子

投稿システムの紹介」・4リハビリテー

ション看護グループ企画「リハビリテー

ション看護の未来を問う」・5放射線看護

グループ企画「これからの放射線看護と

教育の展望」／シンポジウム(調整中)「生

き活き地域を支える看護活動(仮)」／パ

ネルディスカッション(調整中)「看護活

動へのロボット活用(仮)」

参加費：

(～7/10)会員1万円、非会員1万2000

円

(当日)会員1万1000円、非会員1万

4000円

※大学院生を除く学生3000円、懇親会

5000円(別途)

申し込み：ホームページ(<http://jsnr41.jp/index.html>)よりオンライン登録

学術集会事務局：広島大学大学院医歯薬

保健学研究院基礎看護開発学研究室

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3

TEL：082-257-5555(内線6326)

E-mail：jsnr41@hiroshima-u.ac.jp

運営事務局：近畿日本ツーリスト中国四

国広島支店

〒730-0032 広島市中区立町1-24 有

信ビル7階

TEL：082-502-0909

FAX：082-221-7039

E-mail：jsnr41-hiro@or.kntcs.co.jp

<http://jsnr41.jp/>

案内

第13回 日本臨床医療福祉学会

日時：8月27日(木)～29日(土)

会場：ANAクラウンプラザホテルグ

ランコート名古屋(8月27日)、名古屋国際

会議場(8月28・29日)(愛知県名古屋

市)

テーマ：先進的地域包括ケア—その地

域にふさわしい医療福祉の姿

プログラム：特別講演／教育講演／海外

招聘講演／オープニングセミナー／シ

ンポジウム等

問い合わせ：事務局

藤田保健衛生大学医療科学部

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田

楽ヶ窪1-98

TEL：0562-93-2167

FAX：0562-93-2906

〈運営事務局〉オフィスстикワン

〒461-0004 名古屋市東区葵3-12-7

TEL：052-930-6145

FAX：052-930-6146

E-mail：acjchw13@cs-oto.com

<http://www.cs-oto.com/acjchw13/>

案内

千葉看護学会 第21回学術集会

日時：9月12日(土)

会場：千葉大学大学院看護学研究科(亥

鼻キャンパス／千葉県千葉市)

主なプログラム：会長講演、基調講演、

パネルディスカッション、ランチミニ講

座、演題発表(口演、示説)、交流集会

事務局：

E-mail：cans21.office@gmail.com

<http://www.cans-net.jp/society/21/>

案内

第5回日本在宅看護学会 学術集会

日時：11月22日(日)

会場：聖路加国際大学(東京都中央区)

テーマ：「学」として考える在宅看護

プログラム：学術集会長講演「生活の場

に赴く看護の歴史から在宅看護学を考え

る」山田雅子(聖路加国際大学)／特別講

演「在宅看護の知の集積—精神科訪問看

護の発展にかかわって」萱間真美(聖路加

国際大学)／シンポジウムⅠ「在宅看護を

学として教えること—多様な教育の現場

から」小野若菜子(聖路加国際大学)、小

竹久実子(順天堂大学)、平原優美(あす

か山訪問看護ステーション)、2「在宅看

護のさまざまな実践は一つの学問となり

えるのか—訪問看護、退院支援看護、高

齢者施設内看護」成瀬昂(東京大学)、宇

都宮宏子(移行支援研究所宇都宮宏子オ

フィス、聖路加国際大学臨床教授)、六

角條子(東京工科大学)／一般口演／示説

／研究倫理セミナー他

詳細：http://www.zaitakukango.com/shukai_5th/top.html

事務局：

〒104-0045 東京都中央区築地3-5-5

聖路加国際大学2号館在宅看護学研究室

内

TEL & FAX：03-6226-6382(佐藤)

E-mail：zaitaku5th@slcn.ac.jp